



報道関係者各位

2022年12月21日
福島県福島市
株式会社マーケットエンタープライズ

福島市が東北地方で初めての連携 リユースプラットフォーム「おいくら」導入で 不要品リユース事業を開始

～不要品処分需要が高まる年末 不要品処分時間の大幅短縮へ～

福島県福島市(市長:木幡 浩)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2022年12月21日より、地域社会における課題解決を目的とした不要品リユース事業の連携をスタートすることとなりました。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を廃棄物として捨てずに再利用する仕組みを構築。福島市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

福島市では、「福島市一般廃棄物処理基本計画」の中で「持続可能な循環型社会の構築」を基本理念として掲げ、基本施策の1つとして「優先的な2R(リデュース、リユース)の推進」に取り組んできました。それにより福島市の廃棄物排出量は減少傾向にあるものの、まだ利用可能なものまでが廃棄物として処分されており、リユースの促進や廃棄物を減らすための新たな施策の検討が課題となっていました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心に事業展開しており、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えたSDGsへの取り組みに注力してまいりました。そうした中で、マーケットエンタープライズが福島市に働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1を用いた今回の取り組みが実現しました。

※1「おいくら」とは

おいくらとは、株式会社マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。

ウェブサイト：<https://oikura.jp/>

■福島市の課題と「おいくら」による解決策

福島市では分別の徹底や小型家電・イベントでの古着回収など、廃棄物の減量化や資源化につながる様々な活動を行ってきました。しかしまだ利用可能なものの廃棄が多く、リユース推進の啓発が必要であると考えていました。また、粗大ごみの収集には申し込んでから約1ヵ月近くを要するため、住民より「早く回収して欲しい」との要望も寄せられていました。マーケットエンタープライズが運営する「おいくら」は全国のリサイクルショップなどが加盟するプラットフォームで、一度の依頼だけで複数の加盟店から不要品の買取価格が提示されるため、買取依頼者は複数の店舗の情報を比較し、ニーズに合わせて取引先を選定し、不要品を売却することができます。加えて、最短で当日に不要品の売却処分が可能になります。また、梱包が難しく、発送も困難である家電や家具などの大型品は、これまで個人での売却は難しいと捉えられていましたが、「おいくら」を利用すると、不要品の一括見積もりから買取依頼、売却までを自宅から一歩も出ずに、スムーズに完結できるようになります。「おいくら」を用いた本取り組みによって、簡単にかつ廃棄ではなく売却という形で不要品のリユースができることを市民が認知することにより、「リユースする」という選択肢が増え、不要品処分やリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。なお、市民のサービス利用に関する費用負担はもちろん、本取り組みに関して福島市の費用負担もありません。

■今後について

「おいくら」を用いて、廃棄物処理量の削減に取り組みます。福島市ホームページ内

(<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gomi-genryou/kurashi/recycling/gomidashi/14120201.html>)に「おいくら」の情報が掲載され、12月21日より直接不要品の一括査定申し込みが可能になり、希望すれば、自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも不要品売却が容易にできるようになります。加えて、これまで使用年数が少なく正常に動作する場合でも、家電リサイクル法により行政による処分ができないテレビや冷蔵庫、洗濯機などの製品も、まだ活用できるものであれば、「おいくら」での買取が可能となります。福島市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、住民の皆さま・自治体双方の廃棄コスト削減による経済的負担の軽減へと繋がります。この官民一体の取り組みによって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■福島県福島市

福島市は、福島県の県庁所在地で、福島県中通り地方の北部に位置し、西に雄大な吾妻連峰、東になだらかな阿武隈高地に包まれ、まちの中心部には緑豊かな信夫山があり、清流・荒川が流れています。盆地特有の気候と風土を生かした四季折々の果物や飯坂・土湯・高湯の個性の異なる3つの温泉郷、「桃源郷」と称される花見山に代表される花の名所など、まさに“実・湧・満・彩”な豊かな自然が広がっています。

人口:271,220人(男131,859人・女139,361人)(2022年10月末日)

世帯数:124,785戸(2022年10月末日)

面積:767.72平方キロメートル(2008年7月1日)

ウェブサイト:<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/index.html>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ580万人を達成しました。

ウェブサイト:<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

ごみ処理事業に関すること

福島市環境部ごみ減量推進課

担当:須田、増戸

Tel:024-525-3744、Mail:seisou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ 広報

担当:立花、柏木

Tel:03-6675-3923 Mail:pr@marketenterprise.co.jp